



第65回日本産科婦人科学会学術講演会
シンポジウム2(周産期)

妊娠高血圧症候群の

基礎と臨床

— 予防・治療の新戦略に向けて

WHEN

2013年5月11日(土)

8:30-11:30

WHERE

第1会場

(ホテルさっぽろ芸文館1階
ニトリ文化ホール)

CHAIRS

水上尚典(北海道大学)

山本樹生(日本大学)



SPEAKERS

小出 馨子

Keiko KOIDE

(昭和大)

ヒト初期絨毛遺伝子の変化に着目した妊娠高血圧症候群発症の予知と予防

成瀬 勝彦

Katsuhiko NARUSE

(奈良県立医大)

妊娠高血圧症候群における炎症とアディポサイトカイン - 着床機構と病態発現への関与

松原 圭一

Keiichi MATSUBARA

(愛媛大)

血管内皮から観た妊娠高血圧症候群の病態とその発症予知

大口 昭英

Akihide OOKUCHI

(自治医大)

妊娠36週未満発症の妊娠高血圧腎症の発症予知法の改良 - 血中血管新生関連因子の正常域から疾患発症閾値への展開

森川 守

Mamoru MORIKAWA

(北海道大)

妊娠高血圧症候群ならびに関連疾患の発症予知 - リスク因子の解明をめざして

